

実証実験ワーキンググループの取組について

地震や集中豪雨等による災害発生時に所有者、管理者が複雑なターミナル駅や地下街等で、相当数の外国人も含めた帰宅困難者等をどう円滑に案内・誘導するかが課題

【地震(首都直下地震等)】

【首都直下地震】帰宅困難者数:約380~約490万人(文科省推計)
【東日本大震災】帰宅困難者数:約515万人(1都4県、内閣府推計)

東日本大震災時の東京の様子



(写真) 警視庁HP

【集中豪雨等による浸水】

地下街等への浸水事例(博多駅)



H11. 6. 29 博多駅地下コンコースへ流れ込む濁流。死者1名を含む多大な被害が発生



H15. 7. 19 再び地下街が浸水

「地下街の安心避難対策ガイドライン」(国土交通省都市局街路交通施設課)においても地下街やターミナル駅周辺の防災対策に「シームレスな地下空間(総合)案内システム」、「地下空間位置情報の取得」が有効と位置づけられている

高精度測位技術を活用したナビゲーションや避難誘導等のサービスを東京駅周辺で先行的に実現するための実証実験(H27予定)の実施に向けて、特に以下の2つの課題の解決に向けた実証実験を実施する。

①測位の課題

- 屋内外に様々な測位環境（GPS、準天頂衛星、Wi-Fi、BLE等）が存在する中、屋内外シームレスな測位環境をどう実現するか

②地図の課題

- 複数の管理者に跨る地下空間の統一的な地図をどう整備するか
- 屋内と屋外をシームレスにつないだ地図をどう整備するか

実証実験WGの取組と目指すアウトプット

既存資料等を活用した空間情報インフラの整備・活用のプレ実証や他の実証実験結果等の知見をもとにH27実証実験の内容等を検討。

(1) プレ実証実験の実施及び他の実証事業との情報共有・調整

【H26国プレ実施実証実験】

- ・ 既存資料等を用いたシームレス地図作成の試行
- ・ 既存の環境を利用したシームレス測位の試行
- ・ 複数の測位技術を組み合わせた高精度測位の試行 等

【協力団体による実証実験】

- ・ 地図の作成、測位精度の実証実験 等

【他の実証実験】

- ・ 総務省 G空間シティ構築事業 等

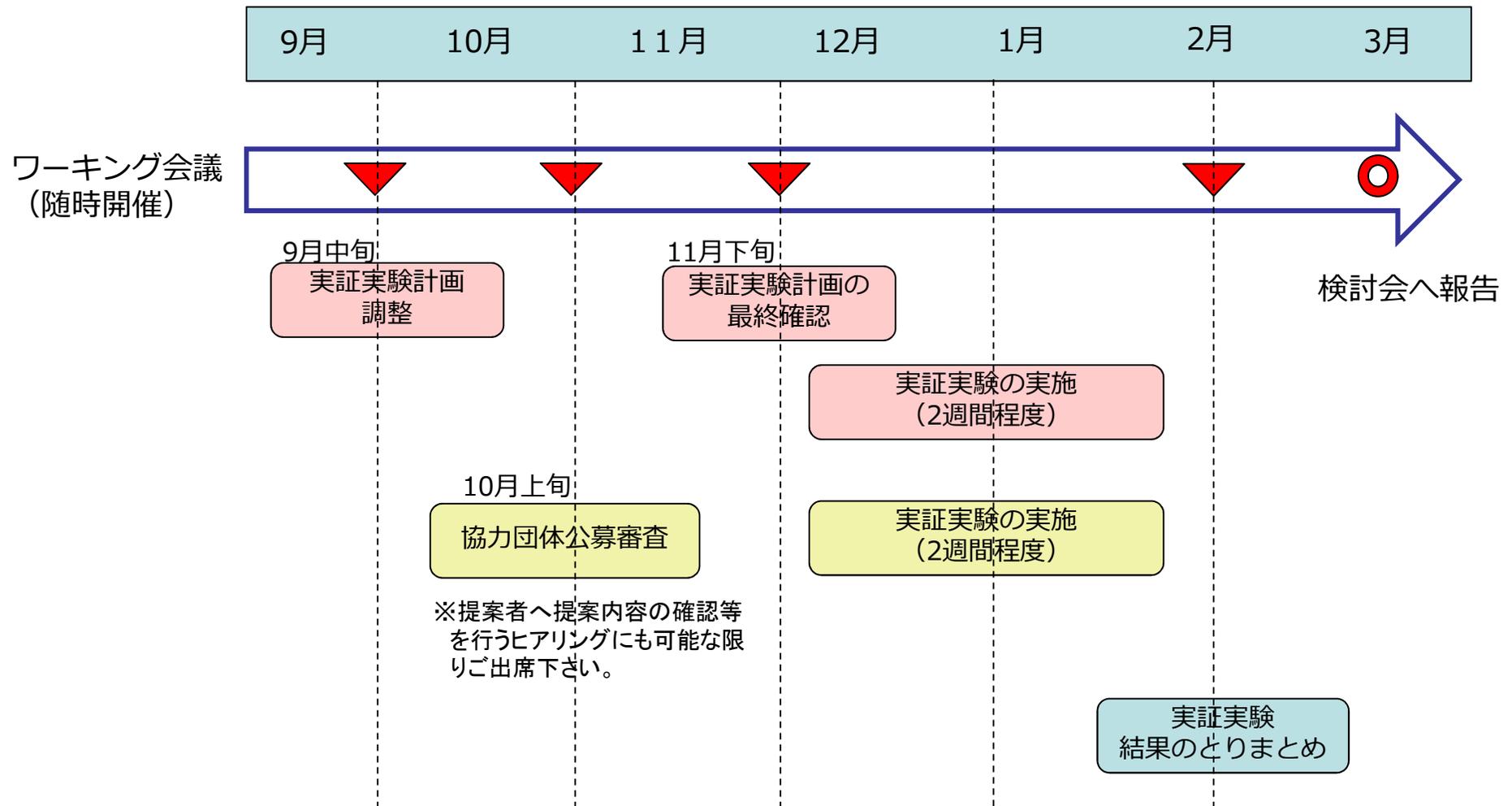
(2) 結果取りまとめ、課題の抽出

都市型災害に対応できる避難誘導、屋内外シームレスナビゲーション等に向けた屋内外シームレスな電子地図や測位環境のあり方、整備要件等を明確化

(3) 平成27年度の実証実験の計画立案

- ・ 実証実験の場所、範囲、内容
- ・ 基盤となる地図の仕様案
- ・ 測位方法、機器の設置・組み合わせ案
- ・ ナビゲーションや防災アプリに備えるべき機能のイメージ 等

- ・ ワーキンググループは年度内4回程度の開催を予定



※必要に応じて個別に打ち合わせさせて頂く場合もございます